

日本ボーイスカウト大阪連盟 豊中地区広報

とよなか

第 91 号

平成 26 年 6 月 2 日

発行

日本ボーイスカウト大阪連盟

豊中地区

スカウトが教えてくれたこと

豊中地区 地区委員長

前田 栄子

私がこのボーイスカウト運動と知り合ったきっかけは、友だちと3年ぶりに駅のホームで出会い、「大学でクラブに入った？」と聞かれ、「入っていなかったら素敵なクラブ紹介したげよ」と言われて紹介されたのが、ボーイスカウトでした。

そこから、楽しいカブスカウトたちと出会い、また、素晴らしい指導者たちとの出会いもあり、365日、毎日毎日ボーイスカウトからはなれられなくなりました。

最初に出会ったスカウトたちが上進するときは、上進することは嬉しいことなのに、何故かスカウトを送り出すことをさみしく思い、涙が浮かんだことを覚えています。

先だって韓日スカウトフォーラム派遣の面接をしたとき、そのスカウトは16NJ・日韓スカウトフォーラムと貴重な体験をしたことが大きな財産となったようで、まるで別人のように自分に自信をもち、「今できること・やりたいこと」など、挑戦したい気持ちを私にひしひしと伝えてきました。こんな、素晴らしいスカウトに成長したことに驚きと感激を感じさせてもらい、今、豊中地区で頑張っているユース年代のスカウトたちをもっと色々な場面で個々がもっている力を「目覚め・発揮」してもらえるよう支援していき、国際活動にも貢献でき、2016年からはじまる新たな地区を担っていく人材に育てなくてはならないと、豊中12団ベンチャースカウト村上真央さんとの面接で教えられました。

そのためにも、私たちスカウト活動に関わるすべての成人が、熱い心をもち、新たな力を注いでいただけるよう、今年度もフル回転で活動していきますので、どうぞ、よろしくお願いいたします。

平成 24 年度 地区役員・会計監査

地区協議会長	花木 一夫 (T12)	副会長	藤田 秀幸 (T20)	井元 良美 (T14)
地区委員長	前田 栄子 (T5)	副委員長	安田 哲朗 (T5)	
総務委員長	木村 照雄 (T4)	指導者委員長	谷岡 信良 (T2)	
スカウト委員長	岡野 富雄 (T16)	行事委員長	森 巧 (T15)	
国際委員長	吉田 道人 (T1)	広報委員長	山本 裕 (T8)	
環境委員長	友野 景子 (T18)	事務局長	真嶋 建志 (T4)	
会計監査	寺町 新一 (T2)	岡部 薫 (T5)		

地区の主な活動（平成 25 年 12 月～平成 26 年 4 月）

●「スカウトの目で見えた良い環境・悪い環境写真展」 平成 25 年 11 月 22 日(金)～23 日(土) 豊島体育館

友野環境委員長

今年も「とよなか市民環境展 2012」において、「スカウトの目で見えた良い環境、悪い環境」の写真展示を行ないました。

最優秀賞 4 団BS隊 新田悠翔君→

スカウトの目で見えた「良い環境、悪い環境」
応募申し込み書 ボーイスカウト豊中地区
 こどもアジェンダ21・環境委員会

★必ず撮影場所とコメントを書いてください。



撮影場所: 香川県高松市 撮影日: 8月13日
 感想及びコメント: たくさんの星を見ることができてとても良いかんじです。

豊中第 4 団 ボーイ 隊 ツバメ 班[組]
 個人名・代表者名: 新田 悠翔

「良い環境」優秀賞 17 団CS隊 嶋岡凛太郎君

「悪い環境」優秀賞 4 団BVS 隊 2 組 中川晴仁君

スカウトの目で見えた「良い環境、悪い環境」
応募申し込み書 ボーイスカウト豊中地区
 こどもアジェンダ21・環境委員会

★必ず撮影場所とコメントを書いてください。



撮影場所: 万葉記念公園 撮影日: 11月2日
 感想及びコメント: きれいな花が咲いており、周りに木もあったので良かったです。

豊中第 17 団 カブ 隊 1 班[組]
 個人名・代表者名: 嶋岡 凛太郎

スカウトの目で見えた「良い環境、悪い環境」
応募申し込み書 ボーイスカウト豊中地区
 こどもアジェンダ21・環境委員会

★必ず撮影場所とコメントを書いてください。



撮影場所: ヒガシトヨカ 撮影日: 10月31日
 感想及びコメント: からすによるゴミ、チエクラ、イロシナクセン、マダモトモト、ヒカ、マダモトモト、カラス、ドコカ、クルカ、ナ?

豊中第 4 団 BVS 隊 2 班[組]
 個人名・代表者名: 中川 晴仁

●全指導者研究集会 平成 25 年 12 月 1 日(日) 大池小学校

4回目となる今回は、テーマを「スカウトのスターになろう! ~本当は楽しいプログラム作り~」とし「すべての指導者が“楽しくストーリーのあるスカウトプログラム”作りができる。研究内容の検討を指導者が行い“指導力向上”“企画力向上”を図る」を目的に65名の指導者が集まり4つの部門に分かれて、プログラムを計画し実施しました。

今回はコミッショナーチームの他に、企画チーム員の方々にお手伝いして頂き非常に実りある研究集会になりました。この集会が皆様の隊での糧になることを期待しております。



●ユニセフ募金活動 平成 24 年 12 月 23 日(月・祝) 千里中央駅周辺



山本団担当副コミッショナー

毎年 12 月 23 日に豊中 6 団のスカウトと合同で行なっています。大阪ユニセフ協会では府下 23 ヶ所の街頭で一斉に行われており、今年の総額は 1,356,046 円、そのうち千里中央での募金額は 101,413 円でした。

寒い中でしたが元気に声をそろえて「世界の子供たちのために、ユニセフ募金にご協力をお願いします。」と呼びかけ、多くの方から暖かい募金をいただきました。

●新年祝賀会 平成 26 年 1 月 18 日(土) 福祉会館



亀井広報委員

たくさんのボーイ関係者が集まり、来賓の方々からは祝辞をいただきました。

第2部では豊中 2 団が中心となって「じゃんけんゲーム大会」。豊中 2 団で、もっともじゃんけんに弱いと言われる某リーダーと参加者全員とのじゃんけん勝負。

とはいっても、けっこう勝てないもの。

今年も楽しく元気にスカウトティングしましょう!

「友情カーニバル」と「B-P 祭」を「平成26年2月16日(日)13時～15時に、服部緑地民家集落南広場で「フレンドシップだよ 全員集合!!」としてフレンドシップフェスタを実施しました。

参加は、一般参加者 203 名、スカウト 300 名、指導者 165 名の計 668 名でした。

実施内容としてはモンキーブリッジ、焼マシュマロサンド、吹き矢、キムス、などRTが考え、野外の活動でスリルとおどろき、普段にあるものでの違った活動など、一般の方にボーイスカウトの活動の一環を体験していただくようにプログラムを組みました。とくにユースとベンチャーの協力によるモンキーブリッジは好評でした。



豊中地区は、午前8時より午後2時頃まで長居公園内のコース(沿道)整理奉仕を行いました。

奉仕者は下記のスカウト12名、指導者10名、合計22名です。

スカウト: 下村 蛍輔・下村 亮太(2)、橋本直樹・植田優父太(5)、袖川由香里・津嶋武(6)、関野昂ハ(7)、
杉川貴朗(15)、森真由美(16)、片岡秀太(21)、水口悟志・住友昂志(22)

指導者: 木村建太(1)、真嶋建志(4)、津嶋真・矢野隆一(6)、石山元三(7)、梶浦高義(12)、
宮崎照生(15)、大塚一志(17)、渋谷京平(21)、森脇康夫(22)

参加スカウトの感想

大阪国際女子マラソンを終えて

豊中第2団VS隊 下村 蛍輔

大阪国際女子マラソンへの奉仕活動で、僕は側道から長居競技場へ向かうまでの横断歩道を警備していました。午前は市民マラソンでしょうか、くまモンや着ぐるみの選手などが目立っていて、選手が少なかったのもあって、気楽に楽しんでいました。しかし午後になると、プロが走ることやギャラリーがたくさん来ていたこともあって、緊張感が増してきました。プロの選手が去り、ギャラリーも一旦引いたところで一息つけましたが、その間、選手がどのルートを走るのかなどの質問を多数受けました。事前に調べていなかったで、うまく答えることができなかったこともあり、そのあたりは勉強してきても良かったかなと思います。20分くらいしてからハーフマラソンで走っておられる市民ランナーの方たちが通過する場面がありました。最初の方こそは選手の間を見て、その間通行してもらおうようにしていたのですが、選手が途切れなくなると、本来は通行できるのに何で？などと言われて困りました。このあたりは警備員の方も来てくれていたのですが、人が多すぎてうまくさばけなかったのを覚えています。ただ、選手が一所懸命に走っているのを見て、自分も頑張らないと、と気を引き締めて務めました。その後、ハーフマラソンが終わり、沿道の片付けをした後、解散という運びになりました。お疲れさまでした。

大阪国際女子マラソンに参加して

豊中第5団VS隊 橋本 直樹

大阪国際女子マラソンは3回目の奉仕になりました。午前中は3キロマラソン等で色々な格好をしたランナーが走っており、見ていて面白かったです。そのマラソンの警備が終われば、2時間ほど自由な時間があり、連盟の友だちのところを回っていろんな人に会えて良かったです。いろんなイベントがあり、屋台なども出ていました。午後からは大阪国際女子マラソンとハーフマラソンの警備でした。間近で選手が見られて迫力がありました。自分もハーフマラソンくらいは参加してみたいなと思いました。ベンチャースカウトとしてこのマラソン大会の奉仕に参加することは今回で最後でしたが、奉仕できたことと、地区や連盟の人たちに会えたことはとても良かったです。

豊中第15団 杉川 貴朗

大阪国際女子マラソンの奉仕は、初めてだったので、とても楽しみにしていましたが、大阪の人のガラが悪くとてもガッカリです。テレビでたまにマラソンを見ますが、沿道整備の人がこんなにも頑張っているなんて、知りませんでした。今度から、沿道整備の人もがんばれと言ってあげたいと思います。あと500円は、けっこう嬉しかったです。

女子マラソンのお手伝いの感想

豊中第21団 片岡 秀太

僕は1月26日に長居競技場をスタートとした大阪国際女子マラソンのお手伝いで豊中地区の21団以外の人たちも一緒に一部のコースエリアの治安維持を行ないました。今回が初めてだったので、分からないことは経験者の同じ団の先輩に聞きました。いざ、マラソンが始まると観客が増えて、黄色いウインドブレーカーを着ていたで、中には質問をされる方もいらっしゃいました。また、この日は生憎の雨でしたので、支給されたお弁当を食べるのにも雨宿りをしないといけなく大変でした。このように、今回の経験は、一般の方にはなかなかできなく、スカウトであったから参加できたものだと思います。今後の人生においても、この経験は必ず役に立つと思います。本当に貴重な経験をしたことに感謝し、また機会があれば参加したいです。

第86回選抜高等学校野球大会の大阪連盟選考会が平成26年2月11日(火祝)大阪スカウト会館にて行われ、豊中地区から植田優父太(5)、大藪梓(16)、住友昂志(22)の3名が奉仕者に決定しました。

生野中学校などで3月2日(日)、3月9日(日)、3月16日(日)と練習が行われ、3月20日(木)リハーサル、3月21日(金・祝)開会式、4月2日(水)閉会式が行われました。



参加スカウトの感想

選抜甲子園野球大会奉仕を終えて

奉仕全体を終えての感想はとにかく新鮮なことばかりで、見るもの、聞く事、やる事全てが新鮮でした。また、夢の舞台「甲子園」に立つという喜びと緊張を胸に日々練習を重ねました。また、様々な学びもありました。

行なった練習内容としてそれぞれの各パートごとの身振り、手振りなどの動きをひたすら行い、体に覚え込ます、という練習を行いました。そしてその後、全体の動きを確認するリハーサルを行うというのが大まかな流れでした。リハーサルは実際の開会式と同じ尺の時間で行ったのでとても、しんどかったとことを思い出します。

メンバーの皆とはほとんどが顔見知りでしたが、一回目の練習ですぐに喋ったり、仲良くなれました。そのきっかけを与えてくれたのが、昼休憩でした。また、昼休憩にはリーダー方の御好意で汁ものを差し入れて下さいました。ありがたかったです。本当に感謝します。

そして迎えた、開会式当日は晴れしきる青空の下で行われました。入場する寸前に目撃したあの大きなマウンドが今も目に浮かびます。みんな息を合わせて一つになりました。その結果みんなの一致断結した動きが一つになり、当日は大成功でした。

閉会式も同じく誰一人欠けず最後まで行う事ができてとても良かったと振り返ります。

一人でも欠けるとそれは一つにはなれなかったでしょう。全員それぞれが自分の役目を果たすことで本当の団結だと思います。自分も自分の役目を最後までやりきる事ができて誇りに思います。

そして、この甲子園奉仕で一番学んだと思う事は、他に頼ろうとせず、自分の事は自分でやり、仲間の存在を大切に、周りに感謝して日々強くなっていくということを強く学びました。今まで数え切れないほどの方々に支えられ、ここまで生きてこられた自分が次は助けてもらっていた立場から助ける立場にならねばと奉仕を通して感じました。

これからも、一生「他を助ける」という奉仕の精神を忘れず活動を行きたいと思います。

豊中第5団 VS 隊 植田 優父太





豊中第16団 VS 隊 大藪 梓

選抜高校野球大会奉仕は私にとって長年の夢であり、一つの目標でした。甲子園で奉仕するボーイスカウトの先輩方の姿を初めて見た時から、絶対にこの奉仕に応募すると決めていました。高校野球が大好きで、ボーイスカウトとして甲子園で奉仕できることほど素晴らしいことはないと思ったからです。

部活動も忙しく、訓練日と試合がかぶってしまうことがわかっていました。しかしどうしても諦めたくなくて、何度か試合を休み、訓練に行くことにしました。そのくらいの覚悟でいたので、面接の合格通知が来たときは今までにないくらい嬉しくて、自分の精一杯を出したいと思いました。

実際の訓練は想像通り厳しく、上手く歩けなくて嫌気が差したこともありました。しかし奉仕隊の仲間と過ごすのはとても楽しくて、この人達と開会式を成功させたいという一心で練習に励みました。

リハーサルなしで挑んだ開会式本番はすごく緊張しましたが、憧れの舞台を歩いているという感動で、一瞬の出来事のように感じました。今まで練習してきたことを思い出しながら、一步一步踏みしめて歩きました。あれほど全力で歩いたのも、泣きそうなくらい達成感を感じたのも初めてでした。

今回の奉仕で私は様々な経験をし、多くのものを得ました。この経験は一生忘れない思い出になると思います。だからこそ思い出にして浸るだけでなく、この奉仕をこれからのスカウト活動にも活かしていく必要があると思いました。そして、この奉仕に携わった方全員に、精一杯の感謝の気持ちを伝えたいです。ありがとうございました。

甲子園奉仕を終えて

豊中第22団 VS 隊 住友 昂志



今回、第86回選抜高等学校野球大会の奉仕活動をしてきました。この奉仕は、大変人気なもので面接を含めた選抜が僕たちにもあって大阪連盟から25人が甲子園奉仕をするというものでした。1月に選抜が行われた時には面接も実技で行進するときもすごく緊張して不安がいっぱいだったので、合格したときはすごく嬉しかったです。

3月から本格的に練習が始まりました。朝から夕方まで本当にたくさん練習しました。最初は周りも知らない人たちばかりで名前が覚えられるだろうか、ちゃんと馴染めるだろうか、とたくさんの不安がありましたが年齢が近い人が多いこともあってすぐに馴染むことができました。

当日は、優勝杯を持つ係に当たっていたのでメインスタンド班として8人の班で行動していました。前日のリハーサルが雨できちんとしたグラウンドでできていないこともあって尋常じゃない程の緊張感で本番に挑みました。実際始まってみると時間がすごく短く感じられ、あっという間に終わってしまいました。ですが、その中にもたくさんの反省点を見つけたので、閉会式の奉仕に活かそうと決めました。

閉会式の奉仕は、当日の練習だけだったのですが、開会式のように緊張し過ぎず挑むことができたので凄いいものになったと僕は思います。

この奉仕を通してたくさんの友達に出会いましたし、たくさんの大事な経験をすることができました。今後のスカウト活動にも大いに活用できるものがたくさん手に入ったと思っているので本当に有意義な奉仕でした。

参加スカウトの感想

『ハワイレインボーキャンプに参加して』

豊中第3団VS隊 眞嶋 奈央

私がこのレインボーキャンプに参加して思ったことは『とにかく参加してよかった』という気持ちが大きいです。

普段交流があったとしても地区単位でしか集まらないので、大阪全体で集まったとき、いろんな人がいるなと思いました。

短い間だったけど、とても楽しくて、また集まりたいと思うほどの隊でした。

私が所属していた班のプロジェクトはそれぞれ違ったけれど、どれも楽しくもってこの班で活動したいと思いました。

ハワイに行くまでは不安だらけだったけど、ハワイにいるうちに不安はなくなって、おもいっきり楽しむことができました。交流会ではハワイの踊りとかを見たり、日本では見ない料理があつて量は多かったけど美味しかったです。

本当にこのハワイレインボーキャンプに参加できてよかったです。また、もう一度行く機会があったら行きたいです。



スカウトの進歩

富士章取得状況 (平成 25 年 10 月～26 年 3 月まで) (順不同)

梶本 健人	豊中 5	下村 蛍輔	豊中 2
橋本 直樹	豊中 5		

隼スカウト章取得状況 (平成 25 年 10 月～26 年 3 月まで) (順不同)

下村 亮太	豊中 2
-------	------

菊スカウト章取得状況 (平成 25 年 10 月～26 年 3 月まで) (順不同)

袖川 美早紀	豊中 6	植田 美信	豊中 5
大塚 遼	豊中 17	中内 辰之介	豊中 16
狩谷 将太	豊中 16		

宗教章取得状況 (平成 25 年 10 月～26 年 3 月まで) (順不同)

キリスト教章(日本基督教団)

下村 蛍輔	豊中 2
-------	------

仏教章(浄土真宗本願寺派)

岡尾 歩	豊中 2	梶本 健人	豊中 5
橋本 直樹	豊中 5	神 遼太郎	豊中 5
野口 真史	豊中 5	小林 みのり	豊中 8

世界救世教章

坂口 泰一	豊中 21	福田 綾菜	豊中 21
浮田 和哉	豊中 21		

技能章取得状況 (平成 25 年 10 月～26 年 3 月まで) (順不同)

20.写真章

村上 真央	豊中 12
-------	-------

33.自動車章

下村 蛍輔	豊中 2
-------	------

35.珠算章

水口 悟志	豊中 22
-------	-------

36.消防章

平岡 輝	豊中 8	小畑 拓実	豊中 8
------	------	-------	------

56.ラジオ章

小澤 暢泰	豊中 6	吉川 舞	豊中 6
津嶋 武	豊中 6	坂田 成美	豊中 12
狩谷 将太	豊中 16	坊農 俊彦	豊中 16
中西 正和	豊中 20	中津 せりな	豊中 20

富士章取得の感想と今後の抱負

豊中第5団 松本 健人

僕は高校三年間で富士章を取得しました。僕の団には富士章を取得した尊敬のできる先輩がたくさんいて、僕もその先輩のようになれたかったし、長い間ボーイスカウト活動をしていたのでなにか集大成として富士章を目指そうと思いました。

富士章を取るまでにはたくさん大変なことがあり、隊長やリーダーや地区の人などにたくさん迷惑をかけました。僕が富士章を取れたのはたくさんの人のサポートがあったからです。とても感謝していますし、これから自団に恩返しをしていこうと思っています。また僕は富士スカウトとなったので、僕の先輩がそうであったように、これから団の後輩たちに尊敬されるような先輩になりたいと思っています。また僕は今まで受験と重なっていたこともあり、参加することのできなかった日本ジャンボリーや世界ジャンボリー、またその他の海外派遣などに積極的に参加したいと思っています。自団の後輩の育成や海外のスカウトと交流することで、また自分自身も成長したいと思っています。



富士章伝達式後の記念撮影（前列中央）

富士章取得して

豊中第5団 橋本 直樹

富士章を取るにあたって私は沢山の経験をさせてもらいました。今までのプロジェクトで「ピザじゃなくてピッツァを作ろう！」では一からものを作る知識を得ることが出来ました。ハワイレインボーキャンプの「Let's sink in the sea」では言葉が違う土地でプロジェクトを進めスキューバダイビングの知識を得ることが出来ました。

最後のプロジェクトである「君らの日常生活は豊かすぎる現代文明のありがたさを見つめ直せ！」では今までに得た知識を生かし無人島キャンプに臨みました。その中でもしっかりした安全対策の徹底など学んだことは沢山ありました。

その中でもしっかりした安全対策の徹底など学んだことは沢山ありました。その中で得たものは技能や知識もそうですが、一番良かったと思ったのは仲間が増えたことです。ジャンボリーにも参加し日本各地に仲間を作ることも出来ました。活動を団だけではなく地区、連盟、世界などに出ていくことで仲間が沢山増えました。

このボーイスカウト活動は今自分にとって一生懸命取り組んでいる活動です。これからもボーイスカウト活動を続け「ちかい」と「おきて」の実践に心掛け、周りから信頼されるスカウト、人間になりたいです。まだまだ沢山の技能、知識を学び次は後輩に指導できるような立場になりたいです。これからもいろんなことにチャレンジしていきたいと思っています。



富士章伝達式後の記念撮影（前列中央）

富士章を受章して

豊中第2団 BVS 隊副長捕 下村 蛍輔

BS 時代僕は菊章を取得していませんでした。当時僕には恵まれた数の同期がいて、仲間たちと活動するだけで満ち足りた活動をすごしていたからです。もちろん進級過程の活動等も参加していましたが、どうにも次に繋げるきっかけのようなものを見つけていなかったように思います。

VS 隊に入り年月も経つと同期たちは片手で数えられるほどまでに減ってしまいました。皆さんもご存じの通り、VS 隊の活動は自分たちで動かないと面白くありません。それが僕の富士章取得へのきっかけでした。面白くなければスカウトじゃないというのは、地区ユースのモットーでもありましたが、まさにその通りだと思います。

僕は人一倍スカウト活動を楽しんだ証でもある富士章を受章できたことを名誉に思います。また、指導者としてのスタートラインと考え、略章を胸にこれからも活動していきますので、どこかで見かけたら声をかけてもらえると嬉しいです。



富士章伝達式後の記念撮影（前列中央）

豊中第4団活動報告



クリスマス集会 12月15日



歳末警戒 12月29、30日



1月19日餅つき



1月19日合同組集会
スープメニューの検討



2月8～9日スキー訓練@ハチ北



1月26日炊事ハイク@千里中央公園
4種類の美味しいスープが完成！



3月2日ボーイ
スカウト祭り



3月28～30日@教学の森



4月5、6日みどりの募金活動



3月23日
六甲山ハイク



3月16日箕面



4月13日秘密基地



2月2日芦屋
ロックガーデン

豊中12団



新リーダー誕生 I



新リーダー誕生 II

12団のスカウトから新たに2名の指導者が誕生しました。今後の活躍に期待します。

(左 古川ゆり
右 森 香菜子)



雨中の団リレーハイク



災害時の帰宅困難者、家族の待ち合わせ場所までの徒歩訓練として3月30日30Kリレーハイクを準備していましたが、前夜からの大雨で安全を考え、23Kリレーに変更、カブ、ボーイ、ベンチャー、とタスキを引き渡しながら歩きました。当初はビーバーも参加予定が全員不参加となり残念でした。歩いて帰って来たら連携良く団委員さん達が軽食準備のはずが田坂隊長の結婚祝いパーティに食事も豪華になり、最後のたすきは左の写真になりました。スカウト、指導者でお祝いました。

いちよん冬の活動ダイジェスト

ボーイ隊耐寒ハイク 2014/2/2 ヤケオ山(標高 823.8m)
滋賀県と福井県の県境にある赤坂山山頂にて



合同スキー訓練 2014/3/20～24 赤倉温泉スキー場



夜間ハイク 2014/4/12～13 第4区(最終区)
東海自然歩道 箕面政ノ茶屋(箕面駅)～大原三千院までを4区間に分けて4年で完歩



ビーバー隊 冬のビーバーたんけんたい 2014/2/23
千里コラボ～新千里北町～青山台～新千里東町



カブ隊耐寒ハイク 2014/2/2 七曲滝

氷瀑を求めて行きましたが、今回は全く凍っていませんでした。残念！
七曲滝までの道は、断崖絶壁や沢など、なかなかスリリングです。



RS 隊 2014/5/4 雪と氷の北アルプス槍ヶ岳に登頂！

年々レベルアップしているので、雪と氷の槍ヶ岳穂先の登攀は余裕でした♪



縁の下の力持ち～豊中第21団～

21団は宗教団(世界救世教)として、現在は箕面市西宿にある教団施設を中心に活動しています。21団の縁の下の力持ちは、この「施設」と我々の活動を温かく見守って支援していただいている「信者さん(賛助会の皆様)」です。

団行事として行う活動(入隊上進式、MO祭、餅つき、振るまい茶会など)は全てこの施設で行っています。各隊の活動や賛助会の皆様への活動報告会もこの施設で行っています。昨年夏、この施設で16NJに参加するオーストラリア隊の受け入れもしました。

そして、賛助会員の中から西河行事委員をはじめ、多くの方々に団委員として我々の活動を支えていただいています。このサポートは大変大きく、まさに縁の下の力持ちです。



入隊上進式



MO祭(教祖の誕生会)



ふるまい茶会
(賛助会員の皆様へ)



餅つき(賛助会員の皆様に配ります)



オーストラリア隊受け入れ



西河行事委員の畑で芋掘り



活動報告会
(16NJ、夏期野営)



施設の中で野外料理や
盆点前の練習もできます



私ができることを長年
やってきただけです。



西河行事委員への
感謝状贈呈



豊中地区ユースBBQ報告書

2014/4/15

野村 一樹

●日時

4月13日

●目的

新たにローバースカウトに上進したスカウトたちの上進祝いと今後地区ユースと一緒に活動していくためにより一層仲を深め、充実した活動ができるように、メンバー間のコミュニケーションを密にする。

●場所

服部緑地公園レストハウス裏広場



●対象

18～25歳のローバースカウト、と同年代の指導者（※要申し込み）

豊中地区ユースの活動に協力してくださる25歳以上の指導者の参加も歓迎

18歳以下のベンチャースカウトは参加不可。

●参加人数 11人

木村(1)、内賀嶋(2)、坂口(2)、阪田(2)、下村(2)、吉田(2)、野村(5)、橋本(5)、尾崎(6)、梅路(7)、森脇(22)



●タイムスケジュール

10:30 準備要員集合,食材買い出し、22 団団倉庫にて備品積み込み

12:00 集合

12:30 設営、準備

13:00 BBQ 開始

16:45BBQ 終了

17:30 解散

18:00 備品片づけ終了

●準備物（備品は豊中 22 団様より借用）

BBQ コンロ、木炭、火ばさみ、軍手、ゴミ袋、バケツ、ペール缶（炭処理用）、ポリタンク
まないた、包丁、ボール、さいばし、トング

肉、ほたて、えび、たまねぎ、ながねぎ、しめじ、たれ各種、竹串、ソフトドリンク



日本ボーイスカウト大阪連盟豊中地区

事務局 〒561-0858 豊中市服部西町4-13-1_

豊中市立青年の家 いぶき 内

地区協議会長 花木 一夫 地区委員長 前田 栄子